



# 高句麗伝説

2009年7月15日、レバノン ティール ヒッポドローム遺跡にて開催

今日はカフェ哲にて特別上映会サロンを開催しました。レバノン高句麗伝説コンサートを上映しました。当日出演している自分の状態や、体感と、映像を通しての経験を経、私は胸の奥深くが動き、込み上げる涙が止まらずに、全身震わせ、号泣していました。平和を願い、平和を作ろうと生きている人々、魂に通じた事を確認出来ました。コンサートの機会があり、魂の表現をさせて戴き、いだきしん先生のはたらきにより、世界に伝搬し、魂が蘇る経験が出来ます事に深く感謝します。



keiko koma web salon 09年7月18日より一部抜粋



# 高句麗伝説

2009年7月26日、ロシア モスクワ グリーンシアターにて開催

ロシア、モスクワにての「高句麗伝説」コンサートを無事開催出来まして誠にありがとうございます。

日本からツアーの方々沢山お越し下さいましたので大きな支えとなりありがとうございました。

また、インターネットにて共に経験して下さいました方々、心ひとつにいて下さいました方々のお気持ちを感じながらさせて戴きました。

宇宙の生まれる3段階前の世界を感じて表現する事が未来の人に役立つと考え、常に心がけて表現させて戴いています。

今日の「高句麗伝説」コンサートも途中は、様々な気持ちになったり、様々なエネルギーを感じたりしましたが、「愛」の詩からロシアの詩へと続いた時に、場が大きく動いて変わっていった事ははっきりと感じました。その後は、日本の人もロシアの人も会場にいる人は皆ひとつになって、宇宙のはるか彼方の世界にいる様でした。この空間は、何も境がない世界で、皆と一緒に生きていけるやさしい世界と感じました。この経験が出来て、大変ありがたく感じております。

引き裂かれた悲しみは、ひとつになり、愛の時代の訪れを感じています。

歴史的なコンサートを共に出来まして心から感謝申し上げます。

ありがとうございます。

2009年7月26日

高麗恵子



ロシア市庁舎での記者会見



高麗恵子 プリンセスフェニックス by Alvdís N. Rutien

プリンセスとはどういう人か、もちろん美しい。しかし単なる美しい女性ではなく特別な美しさを持ち、将来女王になる人で、特に東洋のプリンセスはこの世のものとは思えない人です。御伽噺の世界です。寓話にあるように永遠に若く、奇跡に満ちている。彼女が灰色の現実の世界におりたつと、それは奇跡をもたらします。不治の病をなおし、飢えで苦しむ人を助け、ハーモニーと喜びの奇跡をもたらします。高麗さんは高句麗王の子孫でそのプリンセスとして最も重要な働きをしています。この文章はTV取材の内容を私がKubuye氏の許可を得てインターネット配信するものです。

市の記者会見にあらわれたプリンセスは古代東洋のフェニックスの伝説にあるような人でした。世界中で有名で、音楽家のいだしん氏とともに世界中の問題、災害にあった人々を助け、人々に平和をもたらしています。今回の訪問はロシアは2回目ということですが4月にクレムリンコンサートホールで開催するコンサートの準備のためでした。読者の皆様も、日程などをチェックしてください。記者会見ではモスクワ市文化局長のYevgeny Gerasimov氏とともに以下のようなことが話されました。

ロシアと日本が文化的に共通性があること、特に高麗さんの場合は先祖の国が減んだ時に一部の先祖が逃れた地であり祖国にいるような親しみを覚える事。4月のコンサートではモスクワのことも音楽と言葉で表現し、言語はちがっても心から生まれる詩の表現は全ての人々に伝わる事。日本人は時間厳守だということで会見時間の10分前にはみんなスタンバイしていましたがこれも異例のことでした。会見は一貫してなごやかに親しい雰囲気の中で行われました。二人はロシアへの特別な愛着があるそうです。ここに掲載した写真からも、テレビカメラや記者がいるにもかかわらず、大変うちとけた様子がわかんと思います。

局長は高句麗は韓国と中国にまたがっていたとのことでモスクワ市が領土を献上しようといって笑わせました。おみやげとして高麗さんの手づくりの額に入った高句麗発祥の地の写真と人々を癒す特別なメダルを局長に渡しました。これは内面のエッセンスを引き出し、自己を発見し、心が輝くと輝くことで健康と良い人生へと導く道しるべになることです。おかえしとして局長は高麗さんにはモスクワ市庁舎の額をわたし、執務室を指差してここに私の心がありますと言いました。

そのあと話題は芸術の深い内容となりました。モスクワ市はハンディを負った人々が実は芸術など多方面で素晴らしい才能があることに着目した様々な能力開発や支援をする計画があることを話しました。高麗さんは自分が24歳の時、不治の病にかかりいだしん氏の音楽によってそれが完治した奇跡の話をしました。原因は偉大でありながらも戦争が絶えずあった先祖の歴史的な因縁がであったことがいだしん氏の音楽からわかり、解放され、運命が変わり新しい平和への人生がはじまったと言いました。人間は自らを癒す力があり、世界で最も良い主治医を自分の心の中にもっていることに気づくことが大事です。いだしん氏は高麗さんの声は生命の声であり、音楽とあわせてすばらしいものとなり誰にも感動を与える、毎回コンサートを開催する現地の人々の心を表現する新しい詩を披露すると言いました。

プリンセスを超えて、荒れ果てた世界に恵みの水をもたらす女神のような方です。

アンドロメダエチオピアコーヒー販売などアフリカでの支援活動も顕著です。

今はモスクワはいい季節ではないですが高麗さんは春を待つ人々の心に満ちていると言います。ヘアデコレーションも先ほどのメダルと同じく心が輝くと輝くものだそうです。そして私はジャーナリストとしてウェブサイトで見えた高麗さんによる特別な着物デザインについて質問しました。

日本人とロシア人は心にある神秘的な力、魂に共通性があり深いところで結ばれていると話し合いました。アメリカのプラグマチズムとは相容れないのです。

ここで会見はおわりましたが高麗さんの笑顔を撮影したくてそのあともついていきました。フラッシュでご迷惑であったかもしれませんが私は大変楽しかったです。その様子がこれらの写真からわかんと思います。最後に高麗さんから詩の本をいただきました。ウェブサイトにてここで述べた着物の写真と詩の一部が英語で掲載されています。著作権についてはお互いに良い関係のもとでこのように記事掲載が許可されました。





